

第11回日本臨床一般検査学会

主催:臨床一般検査研究会

後援:公益社団法人愛知県医師会、一般社団法人春日井市医師会、春日井市(申請中)
愛知県臨床検査技師会、岐阜県臨床検査技師会、三重県臨床検査技師会、静岡県臨床衛生検査技師会、
富山県臨床検査技師会、石川県臨床衛生検査技師会、順不同

会期:2019年8月31日 9:00~14:45

会場:中部大学 (〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200)

交通:JR名古屋駅より中央線普通電車、神領駅下車(約25分)、スクールバス乗車(7分)、大学正面より真っ直ぐ徒歩6
分で生命健康科学部51号棟に着。(JR名古屋駅から約45分)(第17回スキルアップ講習会への会場アクセスの
詳細は中部大学ホームページ参照)

テーマ:「腎臓病検査と臨床一般検査をアップグレードする」

学会長:加藤節子 公立西知多総合病院
実行委員長:浅井千春 医療法人宏潤会大同病院
副実行委員長:長篤和子 藤田医科大学病院(抄録集担当)
事務局長:安土みゆき 名古屋第二赤十字病院(プログラム担当)
副事務局長:山崎章子 半田市立半田病院(会計担当)
副事務局長:井上千聖 中部大学生命健康科学部

参加費:2,000円(但し、第17回スキルアップ講習会参加者は無料、学生無料:但し事前申し込み者のみ)

演題募集:一般検査分野(過去に発表した演題も可) *優秀発表演題には学会長賞が授与されます

資格:問いません(メーカー歓迎)

発表時間:7分、質疑2分

原稿:A4、表題12p、氏名、所属、連絡先、本文2列、10.5p

演題・抄録締切:2019年7月13日(土)(厳守)

原稿送付先:下記事務局へメールで送信して下さい。

送付先:学会事務局・臨床一般検査研究会事務局:

送信先 e-mail:ippanken@yahoo.co.jp

※詳細はホームページをご覧ください。http://ippanken.kenkyukai.jp/

時間	内容	演者・備考	司会
9:00~9:05	発表A室: 挨拶学会長:加藤節子	発表B室 挨拶:古川博	
9:05~10:40	演題発表 〃 終了8題	演題発表 〃 終了8題	
10:45~11:35	学会長講演:加藤節子		安土みゆき
11:40~12:00	ランチョンセミナー	栄研化学	

講習会との合同企画:シンポジウム

12:05~14:45	【シンポジウム】	司会・講師
討論:20分	【シンポジウム】 目的:日本臨床一般検査学会は腎臓病検査専門技師制度を提案する	
2時間40分	テーマ:腎臓病療養に役立つ検査情報を多角的な視点で捉える	司会: 野崎 司(東海大学医学部附属病院) 林 晃司(岐阜赤十字病院)
	① 腎臓病におけるエビデンスに基づいた尿沈渣検査情報の報告 30分	星 雅人:藤田医科大学 臨床検査学科
	② 腎臓の画像(エコー)情報を読み取る 30分	濱口幸司:安城更生病院 検査技術科
	③ 検査値に影響を与える薬物療法 30分	石原祥史:岐阜赤十字病院 薬剤部
	④ 腎臓病専門医から腎臓病検査を担当する技師への提言 50分	石川英二:済生会松阪総合病院内科腎臓センタ ー長

「第17回スキルアップ講習会」

主催:臨床一般検査研究会

後援:公益社団法人愛知県医師会、一般社団法人春日井市医師会、春日井市(申請中)
公益社団法人愛知県臨床検査技師会、一般社団法人石川県臨床衛生検査技師会、一般社団法人
岐阜県臨床検査技師会、一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会、一般社団法人富山県臨床検査
技師会、一般社団法人三重県臨床検査技師会 (順不同)

※日臨技認定センター承認研修会(承認番号:一般 18-018)

会期:2019年8月31日(土)11:40 ~ 9月1日(日)15:45

会場:中部大学生命健康科学部 51号棟

テーマ:「今求められる精度管理・精度保証された臨床一般検査を目指す」

～臨床医に評価される有益な情報を提供するために～



中部大学 キャンパス



生命健康科学部棟

平成29年に日本腎臓病協会は腎臓病療養指導士認定制度を発足させました。臨床検査技師はその制度から除外されていますが、腎臓病検査、特に早期発見では尿検査が必須であり、臨床一般検査の中で最も数多く、重要な検査となっています。この認定制度に側面から協力し、チーム医療の一員としての自覚をもつため、充実したセミナーといたしたく、1日目は、シンポジウム及び特別講演は腎疾患に特化いたしました。

2日目はトップクラスの講師陣による尿沈渣等の実習指導に重点を置きました。尿沈渣をはじめ穿刺液細胞、寄生虫、精液検査などでは自由鏡検や討論の時間を設け、日頃の疑問を徹底的に解消したいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

大会長	: 加藤 節子	公立西知多総合病院
実行委員長	: 浅井 千春	医療法人宏潤会大同病院(総合・実習担当)
副実行委員長	: 長瀧 和子	藤田医科大学病院(テキスト担当)
同	: 山口 京子	愛知医科大学病院(実習担当)
同	: 岡 有希	岐阜大学医学部附属病院(経理担当)
事務局長	: 安土 みゆき	名古屋第二赤十字病院(広報担当)
副事務局長	: 加藤 雅子	土岐市立総合病院(実習担当)
同	: 平塚 美子	医療法人同心会遠山病院(経理担当)
同	: 井上 千聖	中部大学生命健康科学部

第 17 回スキルアップ講習会要綱

- (1) 参加募集人数 : 120 名
 (2) 参加費 : 14,000 円(2日間受講、テキスト代、実習費を含む) *1日目の講義のみの受講は 8,000 円
 (3) 参加締切 : 2019 年 7 月 26 日(金)
 (4) 申込方法 : 下記の事項を記入の上、下記事務局へメールにて申込下さい

○氏名、所属、住所、TEL、技師会番号、一般経験年月、e-mail、学会参加の有無(予定)、ランチオン参加の有無、情報交換会参加の有無(3,000 円)、実習選択(事前登録)

○メーカー関係の方の参加:氏名、会社名、住所、e-mail、電話、他同じ。

氏名	所属		住所 〒	
技師会番号	経験	年 月	e-mail	
学会参加有無 (予定)有・無	1日目ランチオン参加 (予定)有・無	情報交換会参加有無 (予定)有・無	認定一般検査技師資格 有	TEL () -

【事前登録】

○実習 1: 体腔液・寄生虫・精液検査実習 A:髄液細胞数算定+寄生虫鏡検+精液検査、または B:体腔液・髄液細胞鏡検実習のどちらかを選択

○実習 2:尿沈渣実習 A:バイインターン方式または B:チュートリアル方式のどちらかを選択

実習1 体腔液・寄生虫・精液実習 145分(2時間25分)	A:(1)細胞数算定+(2)寄生虫鏡検実習+(3)精液検査(60名)
	B:体腔液・髄液細胞鏡検実習(60名)
実習2 尿沈渣実習 150分(2時間30分)	A:バイインターン方式(60名)
	B:チュートリアル方式(60名)

※選択のない方は実行委員会で決めさせていただきます。

尿沈渣実習 A:バイインターン:受講生は準備された成分毎の標本を鏡検した後、症例標本について担当講師がグループ毎に説明指導する方式

B:チュートリアル:担当講師が1グループ約8名程度を対面で症例を中心に徹底指導する方式
(Bは担当講師を指名可能です。但し、ご希望に沿えない場合があります)

(5) 申込先:

臨床一般検査研究会事務局 :林 晃司 岐阜赤十字病院

e-mail:ippanken@yahoo.co.jp

※実習にて人数の関係状でご希望に沿えない場合がありますのでご了承下さい。

※白衣(必須)、筆記用具、技師会会員証 持参のこと。

※宿泊は各自で手当て下さい。

※6月末までにお申し込みの場合、早割特典として情報交換会費を2,000円と致します。

※ホームページ://ippanken.kenkyuukai.jp/ 詳しくはホームページ参照下さい。

【アクセス:電車、バス】

JR 名古屋駅から中央線に乗り換え、普通に乗車、神領駅下車(約 25 分)、スクールバスに乗車(7 分)、中部大学前下車、徒歩 5 分で 51 号棟(大学正門真っ直ぐ)、名古屋駅から待ち時間を入れて約 50 分、車は職員駐車場に入れること(無料)、詳しくは中部大学のホームページをご参照下さい。

時間	内容	司会・講師
11:40~12:00	ランチョンセミナー	栄研化学
12:05~14:45	【シンポジウム】 目的:日本臨床一般検査学会は腎臓病検査専門技師制度を提案する	
討論:20分	テーマ:腎臓病療養に役立つ検査情報を多角的な視点で捉える	司会: 野崎 司(東海大学医学部附属病院) 林 晃司(岐阜赤十字病院)
2時間40分	① 腎臓病におけるエビデンスに基づいた尿沈渣検査情報の報告 30分	星 雅人:藤田医科大学 臨床検査学科
	② 腎臓の画像(エコー)情報を読み取る 30分	濱口幸司:安城更生病院 検査技術科
	③ 検査値に影響を与える薬物療法 30分	石原祥史:岐阜赤十字病院 薬剤部
	④ 腎臓病専門医から腎臓病検査を担当する技師への提言 50分	石川英二:済生会松阪総合病院内科腎臓センター長

スキルアップ:第1日目

時間	内容	司会・講師
14:50~15:20	【開講式】 会長挨拶、学会長挨拶、来賓挨拶、伊藤機一賞、学会長賞 休憩 5分	稲垣勇夫(会長)、加藤節子(学会長)、福井雅子(春日井市医師会長)、兼子徹(伊藤賞選考委員会)
15:25~16:15	【特別講演 1】糖尿病性腎症とDKDについて	司会:宿谷賢一(国際医療福祉大学) 高橋和男:藤田医科大学腎臓内科学講師
16:15~16:35	コーヒープレイク 20分	東洋羽毛
16:35~17:25	【特別講演 2】薬剤性腎障害(DKI)について(仮題)	司会:横山 貴(東京女子医大病院) 龍華章裕:名古屋大学医学部附属病院腎臓内科
17:25~18:45	ケーススタディ ① 森田賢史(東京大学医学部附属病院) ② 長嶋和子(藤田医科大学病院) ③ 川満紀子(九州大学医学部附属病院) ④ 脇田満(順天堂大学病院)	司会:堀田真希(大阪大学医学部附属病院) 腎疾患関連 〃 〃 〃
18:45~19:05	【ナイトセミナー】	
19:10	情報交換会	
20:00	評議員会議 ~20:30	

スキルアップ:第2日目 *タイトルは全て仮題

時間	内容	内容
8:30~8:55	モーニングセミナー A:司会:田中 佳 変形赤血球およびAcanthocytesの文献的考察:稲垣勇夫(中部大学生命健康科学部臨床検査技術教育実習センター) 10分 移動・休憩	モーニングセミナー B:司会:佐伯仁志 サムソン法とギムザ染色標本について、三分類報告の方法と意義:保科ひづる(諏訪中央病院)
9:05~9:45	《実習1》【体腔液検査・寄生虫実習・精液検査】 実習テーマ:精度管理・精度保証するための実学・座学 A:髄液細胞数算定/寄生虫鏡検/精液検査法、B:体腔液・髄液細胞標本鏡検、AまたはBの選択実習、事前登録必要	B:【体腔液・髄液実習】(145分):9:05~11:30 穿刺液・髄液細胞ギムザ標本症例鏡検《悪性細胞をみる及び報告の仕方》 B-1初級コース:経験≤5年、 B-2熟練コース:経験≥5年 ①保科ひづる、②佐伯仁志(敦賀医療センター)、 ③包原久志、④内田一豊(豊橋市民病院)、⑤山崎章子(市立半田病院)、⑥鈴木清江(獨協医科大学病院)、⑦岡有希、⑧森栄(郡上市民病院)、 ⑨林晃司
9:50~10:30	A:【寄生虫鏡検実習】:(40分) (2)寄生虫卵:佐藤千歳(岡崎市保健所)、仲本賢太郎(藤田医科大学)、滝賢一(愛知医大病院)	
10:35~11:30	(3)精液検査法実習講義(55分) 古川博(藤田医科大学病院)、三澤千鶴(豊田厚生病院)	
11:45~12:25	ランチョンセミナー 2社(11:45-12:05,12:05-12:25) 15分 移動・休憩	
12:40~15:10	《実習2》【尿沈渣実習】 事前登録必要 A:バイインターン方式、 B:チュートリアル方式の選択、(AまたはBの選択実習)(実習用尿沈渣アトラス配布予定) A:【バイインターン】:①田中佳(金沢医科大学病院)、②宿谷賢一、③安土みゆき、④浅井千春、⑤藤利夫(リンテック)、 ⑥吉永治代(堺花咲病院)、⑦岩崎卓識(名大病院)、⑧山口京子(愛知医大病院)、⑨太田惣(KKR 札幌医療センター)、 ⑩星雅人、⑪平塚美子、⑫井上佳(四日市羽津医療センター)、⑬加藤雅子、⑭宮地英雄、⑮進藤龍太郎(ばんだね病院)、 ⑯野村勇介(名古屋第二赤十字病院)、⑰前田るみ子(伊勢赤十字病院)、⑱大橋葉津希(岐阜大学病院)⑲服部聡(公立西知多総合病院)、⑳山下美香(広島赤十字原爆病院)⑳加藤節子、㉑森滝章代(市立伊勢総合病院)、 ㉒森田賢史、㉓川満紀子、㉔脇田満、他 B:【チュートリアル】:①野崎司(20名)、②堀田真希、③長嶋和子、④横山貴、⑤森合美(東芝林間病院) *30分間の自由鏡検は、指導担当教官にお任せする。座学、実学のどちらでも可。	
15:30	星雅人、稲垣勇夫	